

パッション
フルーツ
かぼちゃ

奄美市笠利 与沢 裕美さん（45歳） 東京ターン
奄美にしかないものを都会に届けたい！

研修先
所在地及び連絡先

（公財）奄美市農業研究センター（笠利営農支援センター）
奄美市笠利町大字須野1076 電話：0997-56-1222

＜研修作物＞

パッションフルーツ
かぼちゃ
実えんどう



＜新規就農を志した経緯・背景＞

- ・東京で飲食業に従事していたが、農家交流等も体験し日頃から農業に興味があった。
- ・離島生活が好きで20代の頃、与論島に住んだこともあり、奄美にしかない物を都会へ届けたいとの思いで移住し就農することとした。
- ・特に奄美市笠利の景観（さとうきび畑と青い空、澄んだ海）が好きで、NPO法人から空き家を紹介していただけたことがきっかけとなり、移住後農業技術を学ぶため地元センターの研修生となった。

支援策の活用例

- ・奄美市農業研修助成金（日額5,800円）を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。

これまで苦労した点

- ・特にない。

研修して良かった点

- ・農業生産に関する知識の習得ができた。
- ・研修環境が良くて、もともと農業がやりたかった中で好きな土いじりができていること。
- ・作物を生産する過程で研修仲間との苦労もあったが、お互い協力して農業研修の目的を達成できたこと。
- ・就農時の目標が明確になったこと。

就農に向けた今後の目標

【研修期間】（令和4年7月～令和6年6月）
・野菜・果樹の基礎講座、パッションフルーツの栽培技術研修、先進地研修、各種講習会等への参加。

（現在）

【就農後】（令和6年7月～）

- ・パッションフルーツ（施設14a）
- ・かぼちゃ（露地30a）作付け
- ・JA出荷とふるさと納税共販を予定
- ・令和6年4月に認定新規就農者に認定

就農を目指す方へのアドバイス

- ・まず就農に向けて、必要な農業技術を習得すること。
- ・自分自身ターナーで知り合いがいなかったが、研修生仲間、農業指導員、自治体、関係者、地元の人とのコミュニケーションを積極的にとることで多くの方と知り合いになり視野を広げることができた。